
NEXCO西日本グループ 中期経営計画 2015

～ 『自立』と『成長』～

2011年4月

みち、ひと…未来へ。



目次

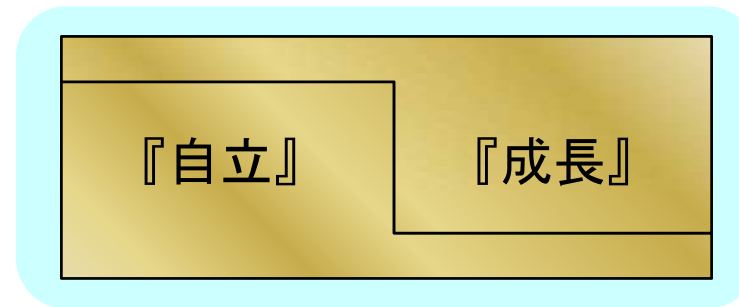
	【頁】		【頁】
グループ理念	2		
グループビジョン ～『自立』と『成長』～	3		
『自立』と『成長』に向けた取組み	4		
中期経営計画2015策定の背景	5		
5つのステークホルダーへの約束	6		
グループ戦略	7		
信頼性向上の実現 — 災害対応力の強化	8		
100%の安全・安心への挑戦	9-12	死傷事故件数の2割削減～死傷事故ゼロの日を3倍に～	9
		道路構造物の老朽化対策	10
		劣化予測・診断システムの全橋梁への導入	11
		点検から施工まで一連の事業システムの効率化	12
着実な債務の返済	13		
経営目標	14	交通情報等の収集・提供機能の強化	16
『成長』のために ～事業創造委員会～	15	ネットワークバリュー最大化のための高速道路整備	17-18
重点事項	16-29	安全・安心な道路を次世代に引き継ぐために	19
『自立』と『成長』の源となる基盤の確立	30	低炭素社会の実現	20
		海外事業の展開	21-24
		SA・PAの変革 ～ブランド戦略の展開～	25-26
		SA・PAの変革 ～直営店でのサービス向上施策～	27
		既存事業の着実な成長をめざして	28
		お客さまの満足度の向上	29

グループ理念

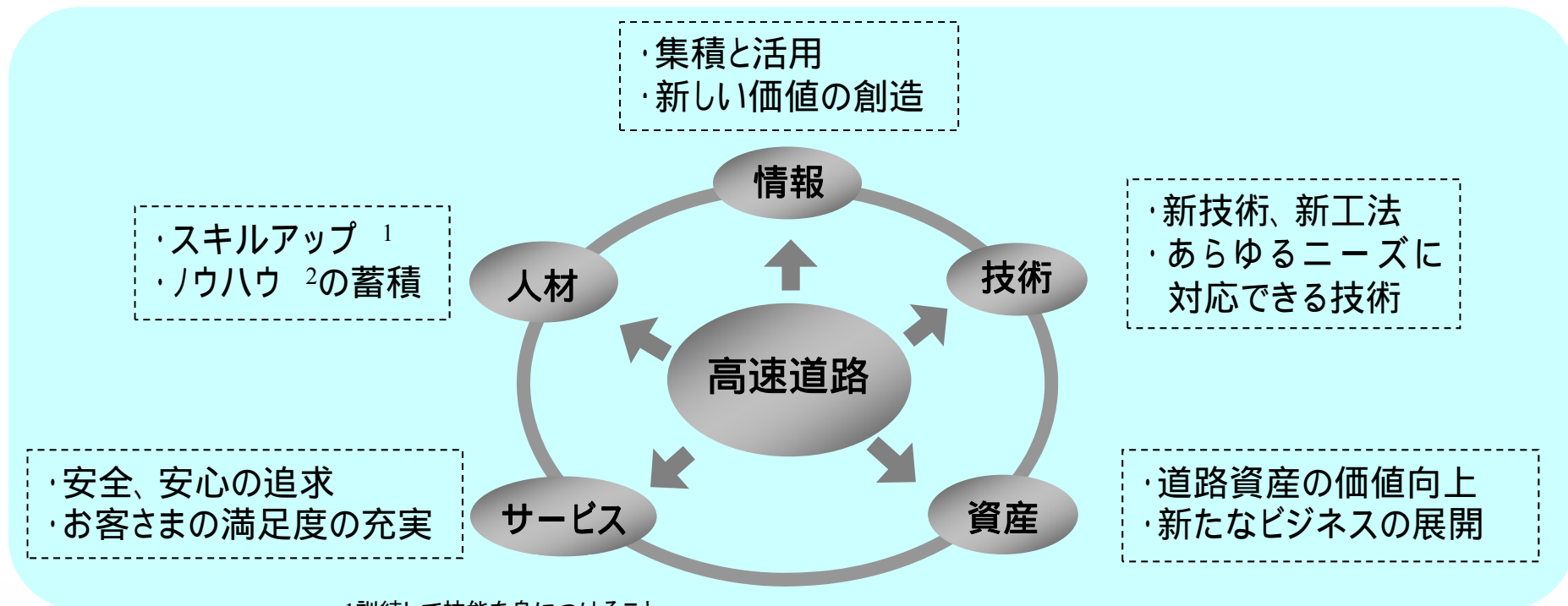
私たちはお客さまの満足度を高め、地域の発展に寄与し、
社会に貢献する企業グループをめざします。

当グループは、高速道路の重要な社会的インフラとしての使命を果たし、
常に全ての活動において、企業の社会的責任(CSR)の遂行を共通の目標とします。

グループビジョン ~『自立』と『成長』~



質的向上



『自立』と『成長』に向けた取組み

当グループを取り巻く厳しい環境・情勢下においても、その変化を乗り越えて『自立』し、『成長』し続けられる企業グループをめざします。

『自立』

- グループが保有する技術・ノウハウを結集し、いかなる外部環境の変化にも対応することで、自ら積極的に地域社会と連携してより良い社会、より快適で安全な高速道路の実現に向けた取組みを実践します。
- グループ全体で集積した技術、知識及び経験を活用して、新たな価値の創造に挑戦することにより、どのような外部環境の変化でも成長につなげていく企業グループへと進化し、お客さまに満足を提供します。

『成長』

- 高速道路の建設・管理を着実にを行い、ハード・ソフト面の資産価値を向上させることにより、成長の源泉となる事業基盤を確立します。
- 高速道路を中心とした経営資産に当グループ独自の価値を付加することにより、長期的・持続的に成長する新たな高速道路へと変革します。

中期経営計画2015策定の背景

2007

2010

2011

2015

中期経営計画2010

～お客さま、地域、社会のために～

当グループは、CSRの遂行を共通の目標として、全ての企業活動を行ってきました。

①100%の安全・安心の追求

- ・コンクリート剥落対策
- ・橋梁の耐震補強

②高速道路ネットワークの整備促進 以下のとおり早期完成

- ・新名神(甲賀土山～大津)1年3ヶ月
- ・東九州道(高鍋～西都)8.5ヶ月

③お客さまの満足度の着実なステップアップ

- ・ハイウェイコンビニの整備
- ・トイレのリニューアル¹
- ・お客さまセンターの開設(フリーコール)

経営環境の変化

環境・エネルギー意識の高まり

異常気象、高度情報化、高速道路の老朽化の進展

少子高齢化、ミッシングリンク²

顧客ニーズの多様化、高品質志向

環境変化に対応した『自立』『成長』実現へのシナリオ

本格展開

- ・環境志向の新技术開発

システムの高度化

- ・劣化予測の高度化
- ・道路の総合診療体制の構築
- ・情報収集・提供の強化

道路整備の継続

- ・ネットワークバリューの最大化

SA・PAの多様化

- ・「くつろぎ、楽しさ、にぎわい」を実感できるSA・PAへ

中期経営計画2015

～『自立』と『成長』～

信頼性向上の実現－災害対応力の強化

100%の安全・安心への挑戦

高速道路の「総合診療」の実現

着実な債務返済

成長のために～事業創造委員会～

成長の実現に向けた主な取組み

<高速道路の更なる価値の向上>

- ・次世代の高速道路をめざした環境技術の導入

<道路保全システムの高度化>

- ・デジタル診断システムの全橋梁への導入(データベース化)
- ・高精度の情報提供の実現

<高速道路の更なる価値の向上>

- ・ボトルネック³の解消と代替機能の役割

<お客さまの満足度の更なる向上>

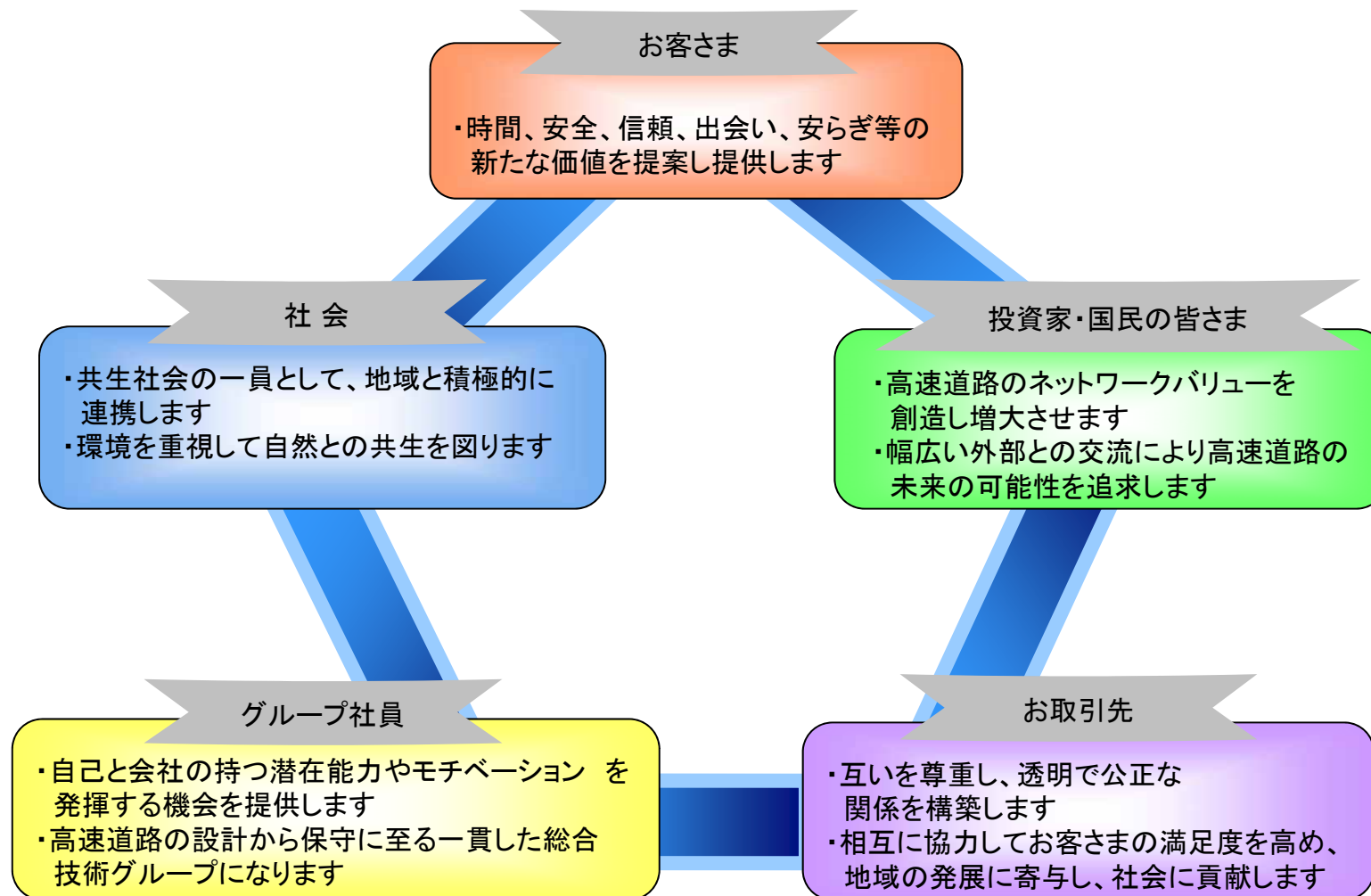
- ・SA・PAのブランド戦略の展開

¹ 装いを新たにすること、改装や更新

² 未整備区間を挟み、連続していない高速道路

³ システムの流れの中で妨げとなるものや条件

5つのステークホルダー(利害関係者)への約束



グループ戦略

“We create new value” Team西日本

当グループは一体となって、これまで培ってきた技術的な資産や経験を統括し、高速道路の価値の最大化と事業システムの高度化を実現します。

価値の最大化

- 国民資産である高速道路のネットワークバリューを増大させるために、高速道路を幅広く活用して、付加価値を創造します。
- 更には、グループ全体が保有するスキル・ノウハウを高め、お客さまの満足度を最大限に向上させます。

事業システムの高度化

- 徹底した業務の効率化のもと、企画から実施までグループ内で実証することで、技術品質及びお客さまの満足度を向上させます。
- グループ全体の各事業において連携強化を図り、常に業務の点検・改善を繰り返すことにより、事業システムの高度化を図り、道路事業のトップランナーとしての役割を果たします。

信頼性向上の実現 — 災害対応力の強化

災害対応力の強化を図るため、「想定を超えた広範囲の激甚災害にも対応できる仕組みを構築」し、発災時には速やかに高速道路を復旧し、被災地域の救急・復旧・復興に貢献します。そして、実効性のある対策をめざして、逐次見直しを行うなど、不断の努力を続けていきます。



東日本大震災の津波被災状況

被害想定の見直しと
想定外の災害への備え

地域・他機関との
連携の強化

災害時における他機関との
広域連携を強化



被害想定の見直し
資機材の備蓄強化
長期停電などへの備えを検討

ハード対策の強化と推進

ハード(防災関係施設)対策の推進
通信手段の強化



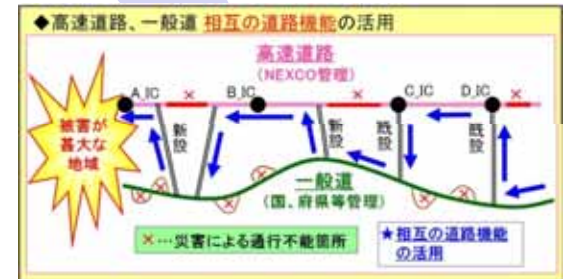
耐震補強の推進

道路管制センター

災害対応力の強化

BCP策定、実地に即した防災
訓練など日頃の取組を強化

BCP(事業継続計画)の策定
防災訓練の実施等



災害への対応における
組織の見直しと強化

防災担当部門の強化
組織・バックアップ体制の強化
復旧とその支援体制の強化など



BCP策定に向けた取組



関係機関との災害図上訓練

100%の安全・安心への挑戦(1)

お客さまに100%安全で安心してご利用いただける高速道路の実現をめざし、この5年間で死傷事故件数を2割(約300件)削減をめざします。 **～死傷事故ゼロの日を3倍に!!～**

数値目標	2005年度		2010年度		2015年度目標
死傷事故件数	1.6千件 (1,564件)	➡	1.6千件 (1,572件)	2割削減➡	1.3千件
数値目標	2005年度		2010年度		2015年度目標
死傷事故 ゼロの日	7日	➡	13日	3倍➡	40日以上

《死傷事故件数は、NEXCO西日本調べ》

交通事故の
根絶に向けて

既往の対策

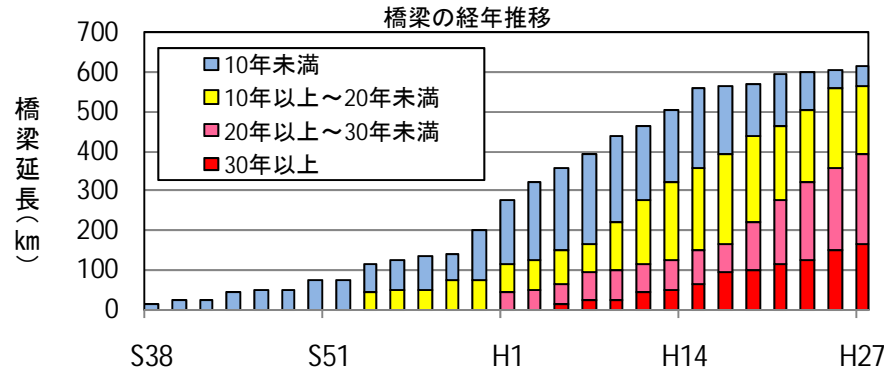
- 降雨時の安全走行のため、水はねの少ない高機能舗装の推進
- 特に道路線形の厳しい箇所や交通事故が多い区間で、速度抑制対策や、視線誘導、注意喚起の改善を重点的に実施

新たな対策

- “DRIVE&LOVE!プロジェクトを推進します” 
- プローブデータ等を活用した新たな交通安全対策に取り組みます 
- 逆走探知ナビゲーションによる逆走対策と立入防止対策を実施します 

100%の安全・安心への挑戦(2)

老朽化が著しく進展している道路構造物に対し、点検から補修までトータルマネジメント¹の確立を図ると共に、早期に抜本的対策に取組み、重要な社会インフラ²を次世代に引き継ぎます。



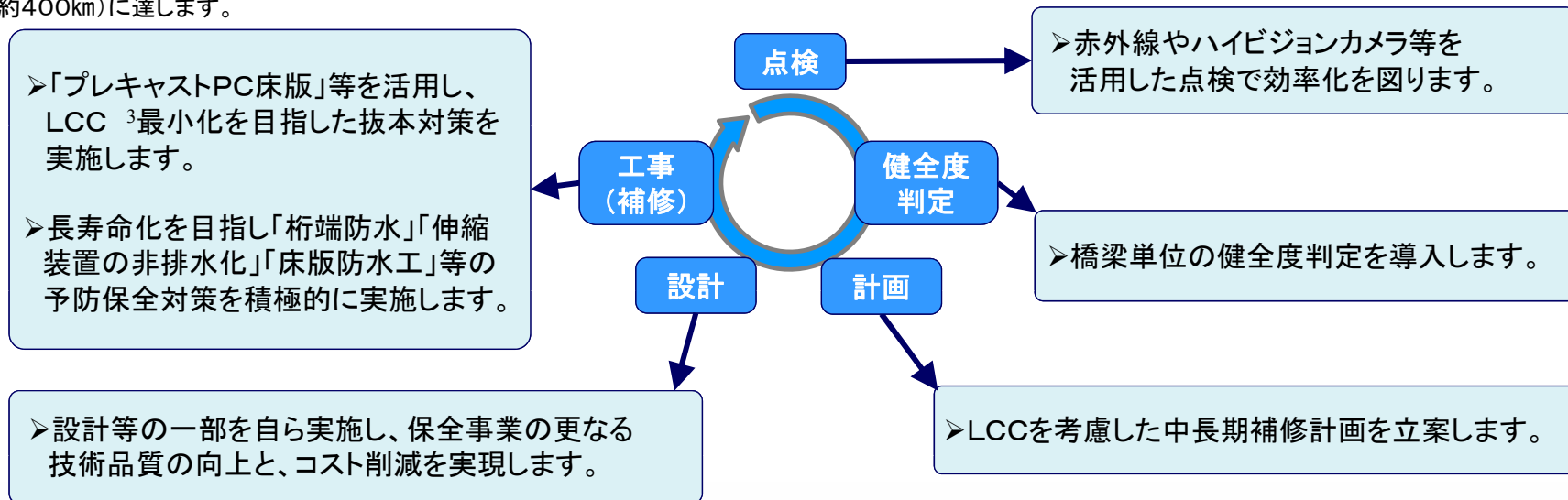
※NEXCO西日本が管理する高速道路の平均経過年数は22年であり、平成27年度末では経年20年以上の橋梁延長が、全体の約70% (約400km)に達します。



橋梁床版部の損傷状況



橋梁桁端部の損傷状況



1一連の作業を開始から終了まで管理すること

2道路や上下水道など産業や生活の基盤となる社会資本のこと

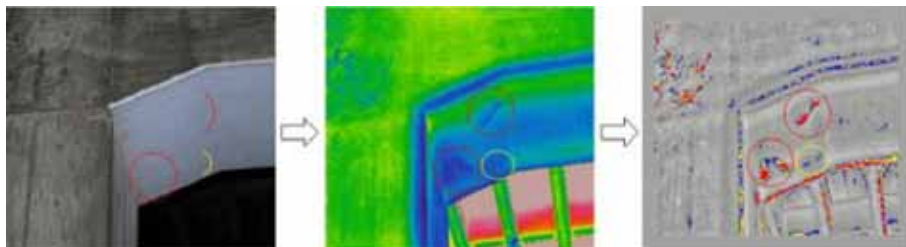
3製品や構造物などの調達・製造から使用、廃棄までの全段階の費用(ライフサイクルコスト:生涯費用)のこと

劣化予測・診断システムの全橋梁への導入(データベース化)

デジタル機器を用いた橋梁点検技術や点検データの蓄積等により、劣化予測・診断システムのデファクトスタンダードをめざします。

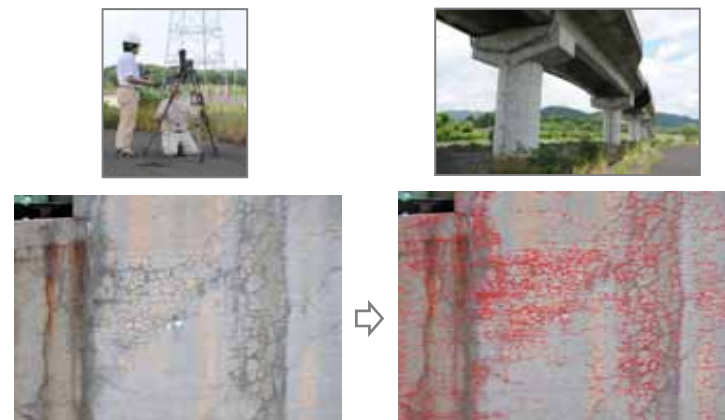
- 点検の効率化が可能となるデジタル機器を用いた橋梁点検技術を、管内の全橋梁に対して導入します。
- 健全度の客観的評価及び点検データの蓄積により、橋梁の過去の修繕履歴を迅速に参照できるシステムを構築し、診断や劣化予測の高度化を図ります。

赤外線カメラ



→ 構造物表面の温度分布を感知し、空洞、浮き、剥離を検出

デジタルカメラ



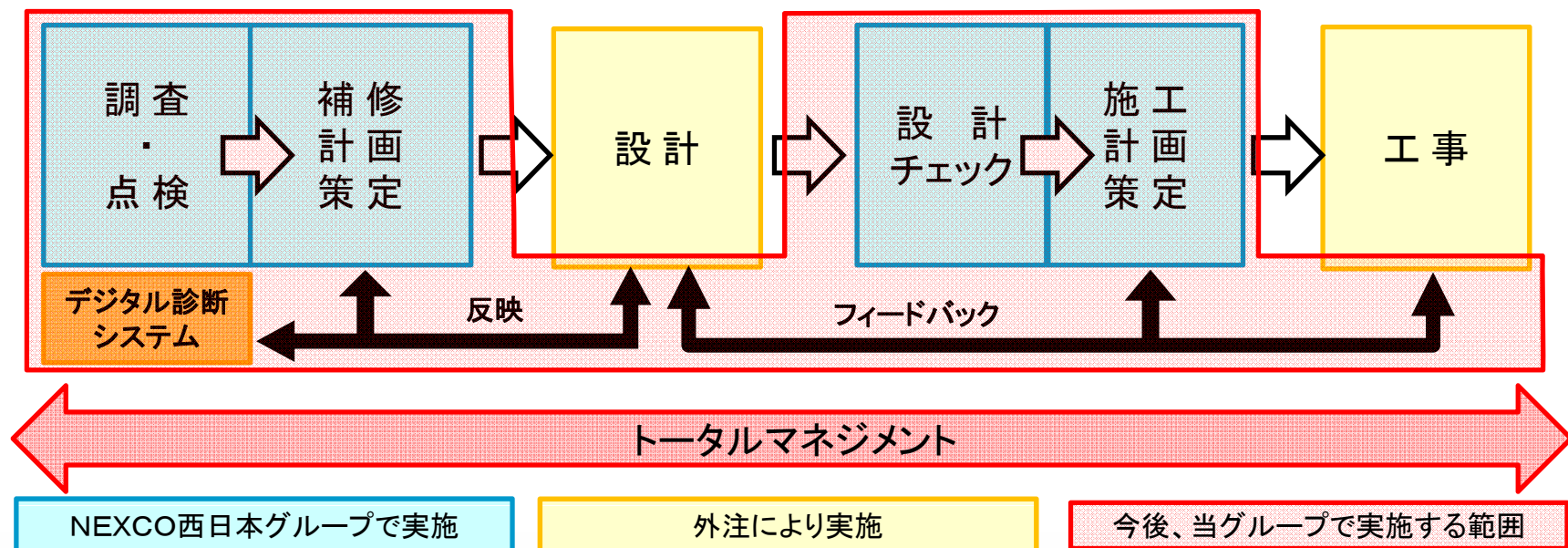
→ デジタルカメラの撮影画像から、ひび割れ自動抽出技術を用いて、点検の高度化・デジタル化を図る

ISOやJISなどの標準化機関等が定めた規格ではなく、市場競争等により「結果的に事実上標準化」した基準

点検から施工まで一連の事業システムの効率化

点検から補修まで一貫して行う「道路の総合診療」の実施により、技術品質の向上とコスト削減を実現し、安全・安心を一層向上させます。

- 点検から補修まで一貫して行うトータルマネジメントの確立をめざして、グループの能力研鑽と体制構築を行います。
- 道路保全工事の調査・点検から工事まで一連の業務の一部を自らで実施することにより、保全事業システムの有効性等を実証し、全体最適化を実現します。



着実な債務の返済

民営化の主たる目的の一つである、日本高速道路保有・債務返済機構が保有する債務の返済を着実に進めます。

➤NEXCO西日本は平成22年度から平成27年度期末にかけて債務残高を0.5兆円減らします。

貸付料を充てて返済を行う債務の残高【試算額】(全国路線網)

	2006年度期首 ¹		2010年度期首 ¹		2015年度期末 ²
NEXCO西日本	9.7兆円	➡	8.2兆円	➡	7.7兆円
全国路線網 計	28.3兆円		23.7兆円		25.1兆円 ³


1 「2006年度期首」および「2010年度期首」欄の残高は「高速道路機構ファクトブック」(独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構)より引用しています。

2 「2015年度期末」欄の残高は、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構との協定を基に算出した計画値であり、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しているため、実際の残高は今後、様々な要因により変更する場合があります。

3 全国路線網では、新東名の開通などに伴う機構への債務引渡のため、債務残高が増加する計画です。

経営目標

■ 財務目標(連結)

		2010年度見込		2015年度目標
高速道路事業 ¹	料金収入	5,738億円		6,961億円
	道路資産賃借料	3,952億円		5,079億円
	管理費用等	1,786億円		1,882億円
	営業利益	0円		0円
関連事業 ²	営業収益	330億円		527億円
	営業利益	38億円		61億円
グループ合計	営業利益	38億円		61億円

1 高速道路事業の数値は、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構との協定を基に算出した数値であり、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しているため、実際の残高は今後、様々な要因により変更する場合があります。

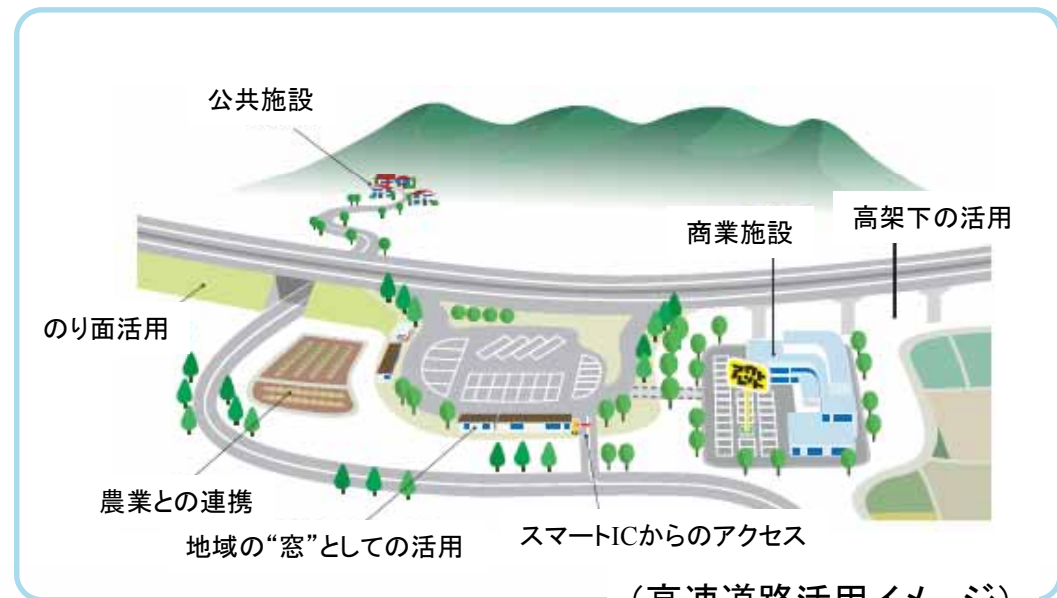
2 関連事業の2010年度見込の数値は、平成23年3月期中間決算公表時の通期見込みの数値(受託事業を除く)です。

『成長』のために ～事業創造委員会～

より快適で楽しい、また行きたくなる高速道路と、周辺地域との共生の実現をめざし、「事業創造委員会」を立ち上げ、新たな事業を創造します。

➤一般公募、ビジネスパートナー※¹およびグループ社員から寄せられた約3,600件のアイデアと、各分野でノウハウを有する事業者との協働により、以下の取組みを実現します。

- グループ内に培ってきた技術、ノウハウ、サービスを、当グループが管理する道路だけでなく、国内外の道路や関連施設でも活用できる新たなビジネスモデル²を構築します。
- 周辺地域や他の事業者と協働し、地域との共生を図り、これまでの概念を超えた高速道路サービスを実現します。



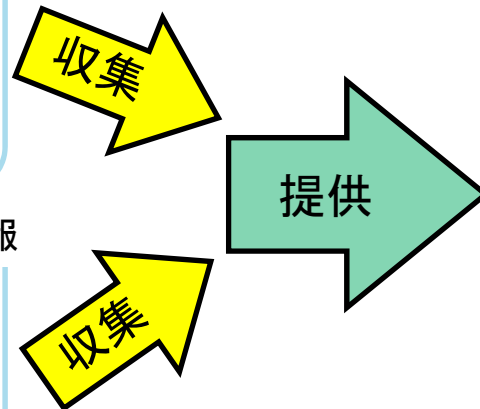
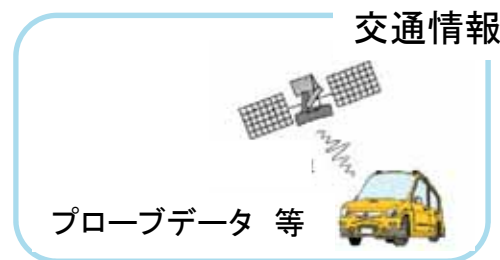
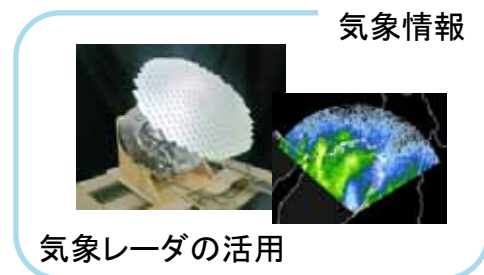
1 高速道路やその周辺におけるビジネスに関して、当社との連携を御希望していただいた方(個人・法人)

2 企業が行う事業の仕組みや方法のこと

高速道路における交通情報等の収集・提供機能の強化

情報収集機能の強化と **iHighway** 等の提供機能の多モード化¹を図り、お客さまにより有益な情報の収集・提供ができる体制を構築します。

- 頻発するゲリラ豪雨・強雪等に備え、気象会社との共同研究により、ピンポイントで予測精度の高い気象情報を収集します。
- プローブデータ(車両の位置情報等)などを活用し、精度の高い交通情報を収集します。
- 収集した情報を **iHighway** でタイムリーに提供するとともに、マルチメディア放送²等の活用により多モード化することで、快適なドライブをサポートします。



1 音声・文字・画像などの様々な状態

2 2011年のアナログテレビ停波後の周波数を利用して提供する新たな放送

ネットワークバリュー 最大化を実現するための高速道路整備(1)

地域の発展や国際競争力の強化・災害時の代替機能の確保に向けて、高速道路ネットワークの形成・充実を図ります。

▶新名神高速道路『大津～城陽』『八幡～高槻』の着工をめざします。

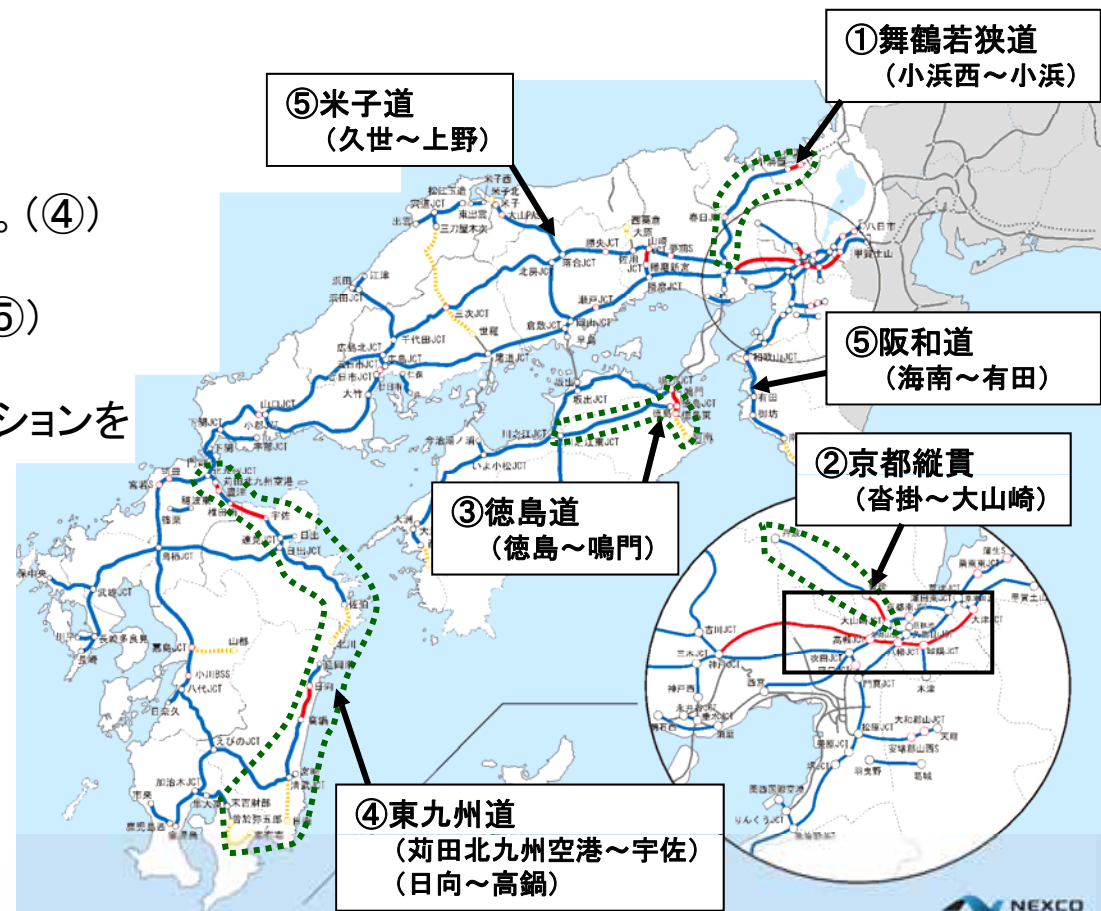


▶高速道路ネットワークのうち、2車線で営業中の道路等について、交通状況等を調査・分析し、4車線化事業等の事業化を検討します。

ネットワークバリュー最大化を実現するための高速道路整備(2)

高速道路ネットワークの完成に向け、着実な整備を行います。

- NEXCO中日本と共同して舞鶴若狭道を全通させます。(①)
- 京都縦貫と名神を接続します。(②)
- 徳島道と高松道を接続します。(③)
- 東九州道事業中区間の開通をめざします。(④)
- 阪和道および米子道を4車線化します。(⑤)
- 15か所のインターチェンジおよびジャンクションを追加・改築します。



安全・安心な道路を次世代に引き継ぐために

道路の高耐久化施策と予防的対策の実施により、次世代へ安全・安心な道路を引き継ぎます。

➤現在建設中の新名神高速道路では、徹底した高耐久化施策を講じ、舗装・橋梁等の長寿命を実現します。



舗装の大規模補修

舗装の大規模補修サイクルは、40年をめざします。

➤浸水を防止する新たなコンポジット舗装 の導入 等

下層にセメント系の版、上層にアスファルト混合物を用いた舗装



橋梁(床版)の大規模補修

橋梁の大規模補修サイクルは、100年をめざします。

➤ 床版への浸水を防止する新型防水工の全面導入

➤ 鋼橋塗装に金属溶射を導入

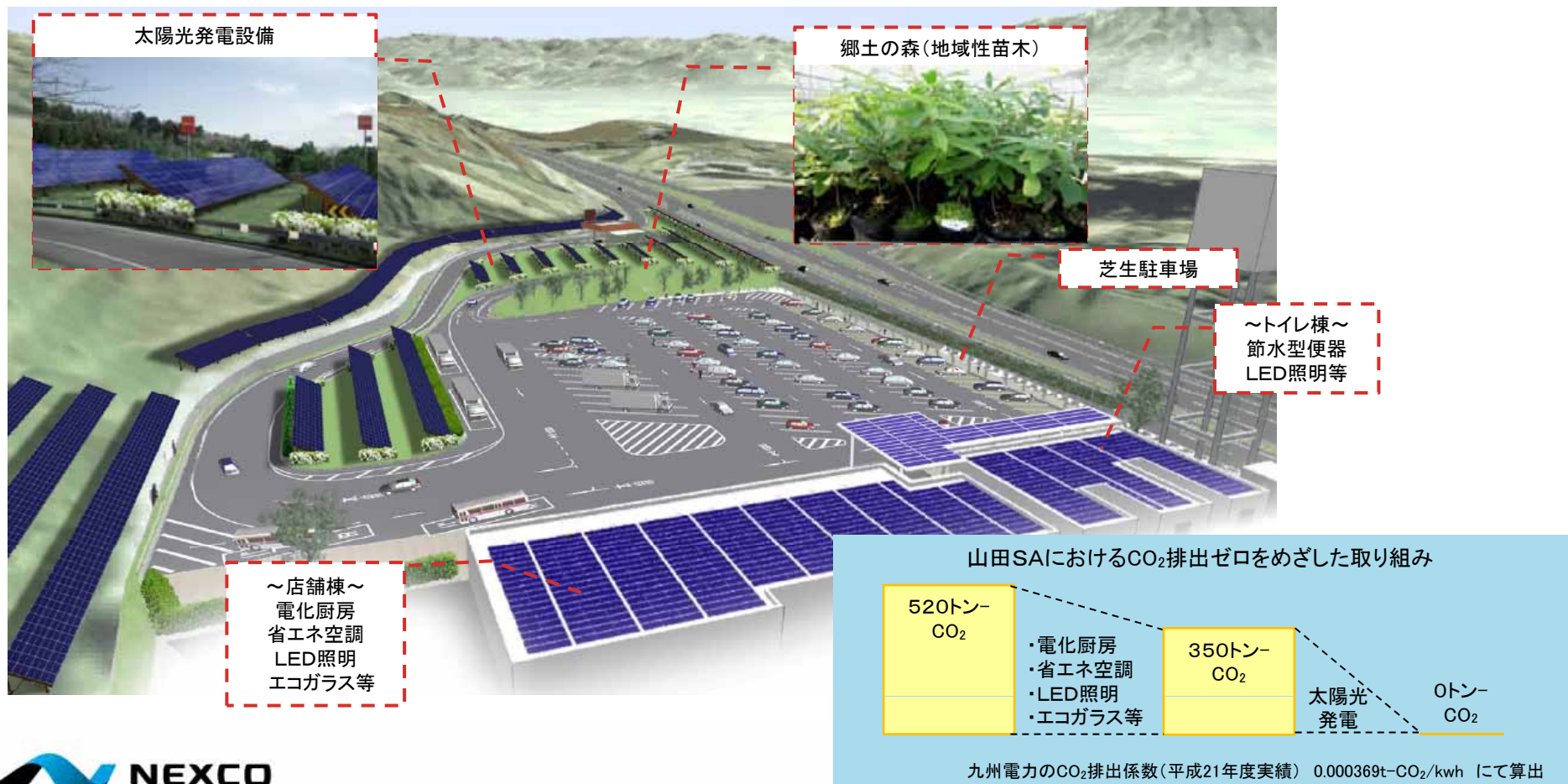
➤ コンクリート橋に低収縮・低発熱コンクリートを導入 等

➤全ての建設中区間において、専門技術者が直接現地で指導・支援します。

低炭素社会の実現

地球環境に貢献する次世代の高速道路としての価値向上をめざします。

▶大分自動車道 山田SA(下り)でCO₂排出ゼロをめざした実証実験を行い、新たな環境技術の導入を推進します。



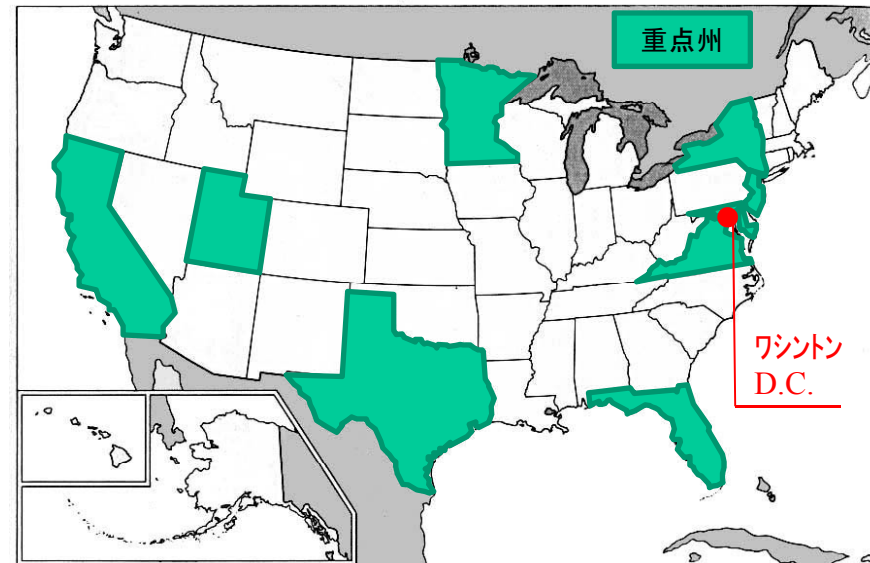
米国での橋梁点検業務への参画

橋梁点検業務への新規参入を足掛かりとして、米国内の道路保全事業に参入します。

- 当グループの保有する橋梁点検技術が、米国での標準的な点検手法の一つとなるよう、ワシントンD.C.に設立した子会社を拠点として全米での販売拡大を進めます。



ハイビジョンカメラによる橋梁点検の様様



ワシントンD.C.を拠点とし、全米に事業展開

アジアでの有料道路事業への参画

日本で培った建設・管理の経験とノウハウを活かして、アジアでの道路インフラ整備に寄与し、日本の国際社会での地位向上をめざします。

- ▶インドネシアに事務所を設置し、ジャサマルガ社(インドネシア高速道路会社)との情報交換・技術交流を推進し、事業進出の基盤を確立します。
- ▶国および関係団体等との協力体制を築きながら、有料道路事業へ参画し、海外のインフラ整備に貢献します。



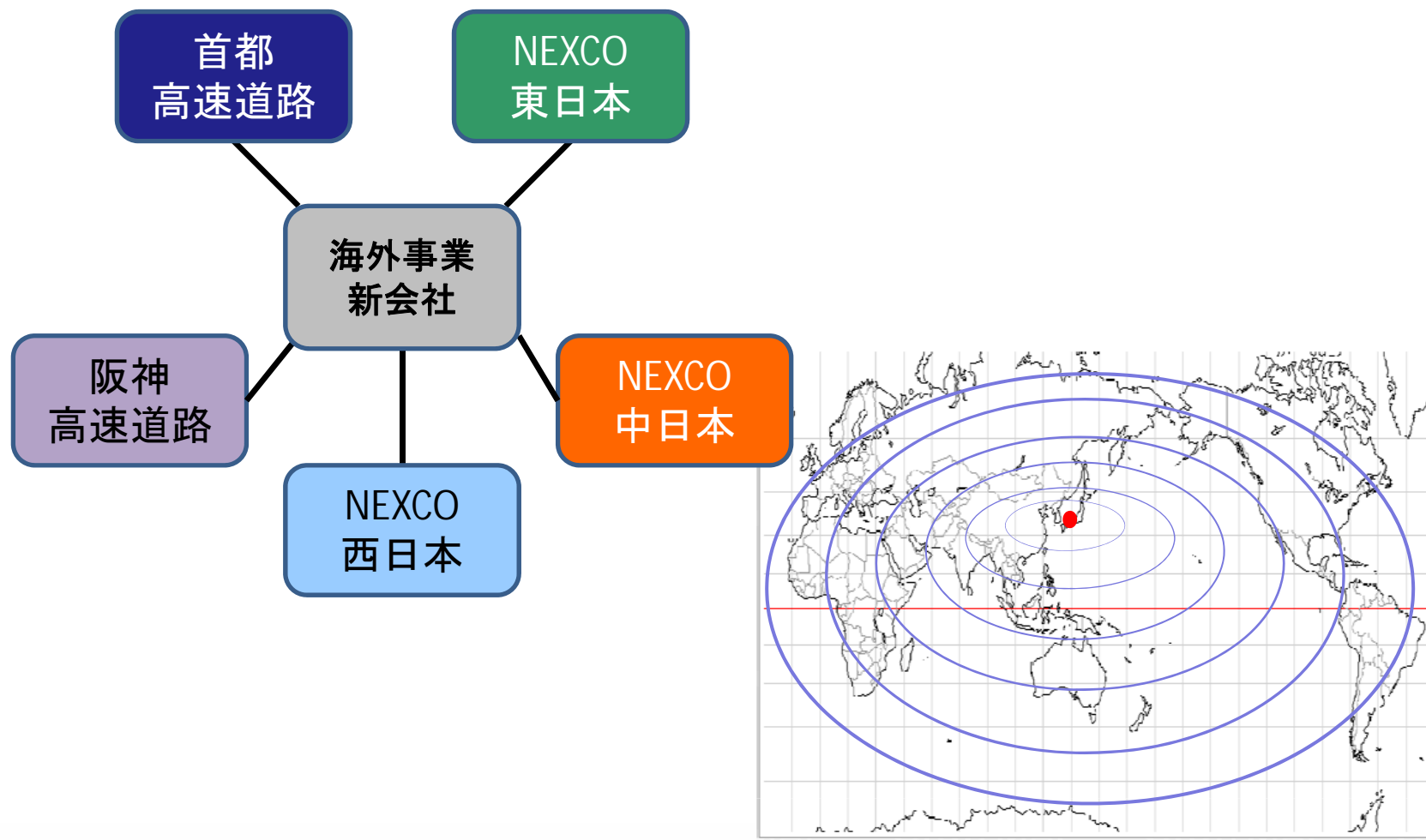
ジャカルタの渋滞状況



ジャサマルガ社との意見交換

海外事業新会社の設立

高速道路会社5社の共同出資による新会社を設立し、海外事業を一層積極的に進めるとともに、国際社会との交流や国際貢献を推進します。



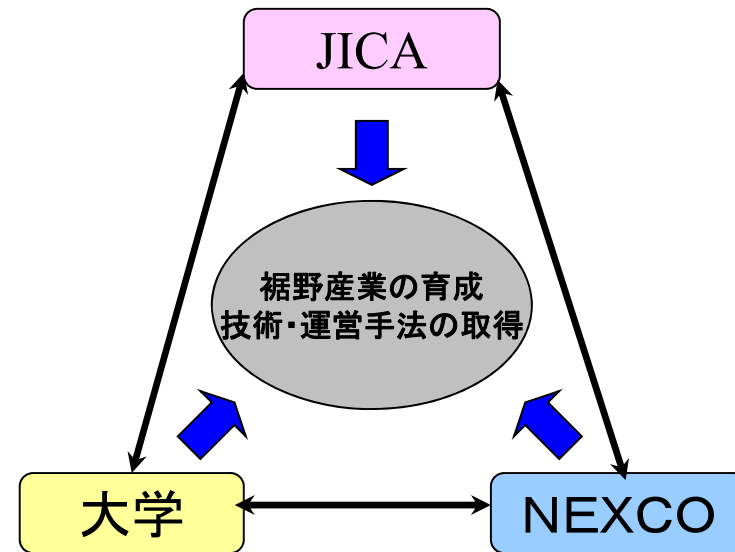
アフリカでの技術協力プロジェクトへの参画

アフリカサブサハラ地域の国に対して技術支援・政策提言を行い、独自で効率的な道路維持管理ができる体制の構築をめざします。

- JICAの技術協力プロジェクトに専門家を派遣し、舗装及び橋梁点検・維持補修など道路維持管理体制整備のための人材育成を行います。
- NEXCO西日本、JICA、大学の産官学連携プロジェクトにより、アフリカ地域の産業の活性化に資する道路整備を支援します。



サブサハラ地域の道路状況

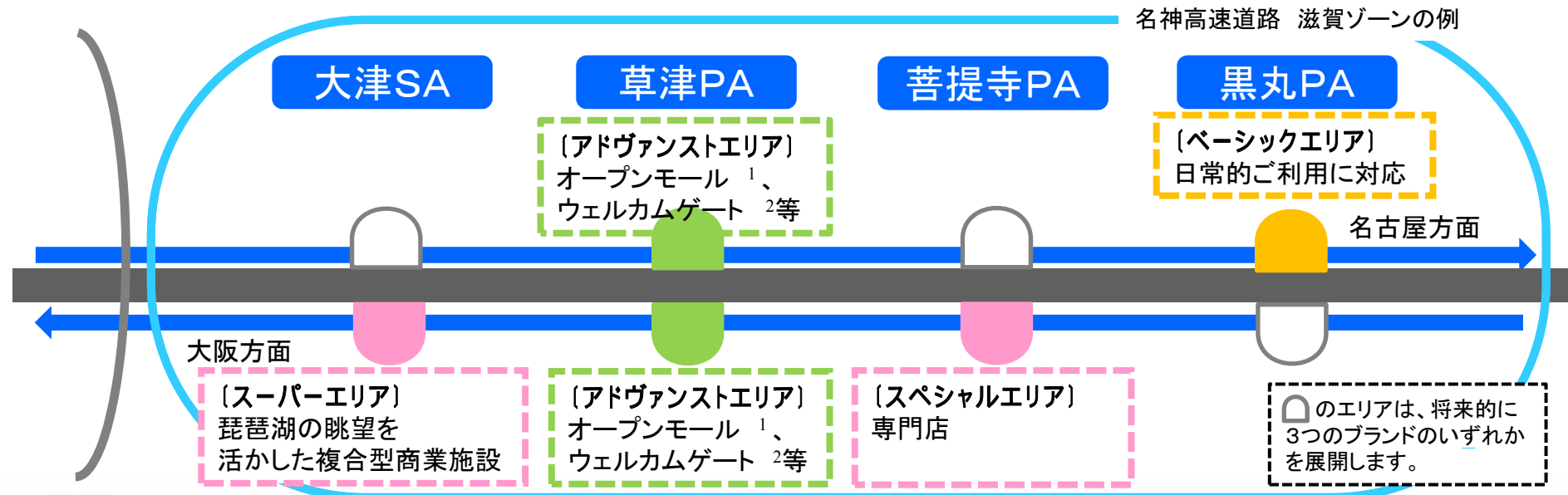


産官学連携プロジェクト

SA・PAの変革 ~ブランド戦略の展開(1)~

SA・PAを、「くつろぎ、楽しさ、にぎわい」を実感していただける「お客さま満足施設」へ変革していきます。

- ▶地域性や交通特性などを踏まえた店づくり・品揃え等のブランド戦略を展開し、面(ゾーン)としてお客さまのニーズに100%お応えします。
- ▶お客さまにSA・PAにおいて各地域の観光資源や情報に触れていただき、地域とともに発展します。
- ▶日常的なご利用においてご満足いただけるサービスを提供する「ベーシックエリア」、基本的なサービスにウェルカムゲート等の多彩なサービス(機能)を追加した「アドヴァンストエリア」及び特別なコンセプトを持ち、旅の目的地となる「スペシャルエリア」、「スーパーエリア」の3つのブランドを順次展開します。



SA・PAの変革 ~ブランド戦略の展開(2)~

ベーシックエリア (Basic Area): Bブランド¹

すべてのお客さまの日常的なご利用において必要な商品を取り揃えることにより、あらゆるシーンにお応えします。

- 「温かみのある手作り感」を大切に「一店逸品メニュー」をご用意して、おもてなしの心で接客することをお約束します。
- 明るく、ゆったりした、商品の充実する店舗で、お買い物をゆっくりと楽しんでいただきます。

アドヴァンストエリア (Advanced Area): Aブランド¹

Bブランドのサービスに加えて、「特別なひととき」と「周辺地域の特色」を強く意識した多彩な機能を追加したエリアにします。

(追加するサービス(機能)の一例)

- 地域農産物等、各地域の特色を明確に打ち出した商品の提供
- 「地域の窓(仮称)」による、地域情報の発信

スペシャルエリア、スーパーエリア (Special or Super Area): Sブランド¹

SA・PAを利用することの楽しさを実感していただけるお客さまの目的地となるエリアにします。

(展開例)

- 名神高速道路 大津SA(下り線)では、琵琶湖の眺望を最大限活かし、ナショナルブランド²や地域有名店を出店させるなど期待以上の「くつろぎ、楽しさ、にぎわい」を提供します。

¹各ブランドの名称は、後日、発表します。

²全国的な知名度をもつ銘柄や商標のこと

SA・PAの変革～直営店でのサービス向上施策～

ブランド戦略を直営店で先駆的に展開します。

▶NEXCO西日本グループ会社が運営する直営店において、「おもてなしの心」をコンセプトに、明るく、ゆったりとした店づくりを進めるとともに、先駆的にブランド戦略を展開します。

▶直営店では統一的なサービスの提供・接客水準などのサービスの向上を図ります。

直営店で展開するサービス(例)

一店逸品メニュー

「温かみのある手作り感」を大切にした地産地消メニュー等、各店のお勧めメニューを提供します。



画像はイメージです。

ワンコインメニュー

グループ会社による一括仕入れ・配送により実現する高品質・リーズナブルなメニューを提供します。



画像はイメージです。

ポイントサービス

お客さまにポイントカードを発行し、累積ポイントで様々なサービスを提供します。

既存事業の着実な成長をめざして

会社の経営基盤をより強固なものにするため、既存事業のさらなる成長をめざします。

- ▶ 保有不動産の更なる利活用をめざして、賃貸マンション事業を展開するとともに、SA・PAに「ハイウェイホテル」の設置(今後5カ年で3箇所予定)をめざします。
- ▶ 宿泊予約サイト「みち旅」を通して地域と連携し、農業体験等の旅行サービスなどを企画して魅力的な旅を創出します。



ハイウェイホテル1号店(壇之浦PA(下り))



農業体験旅行(イメージ)
(画像提供:JAみなべいなみ)

お客様の満足度の向上

高速道路ご利用のお客様の満足度を向上するため、「お客様の声」を積極的に把握し、サービス内容の改善・充実に努めます。

- ▶「お客様の声」のよりの確な把握とグループ内で情報共有を図ることにより、高速道路事業の改善につなげていきます。
- ▶今後増加する外国のお客様にも安心して高速道路をご利用頂くため、適切な案内が実施できるよう体制を強化します。
- ▶これらの取組みによりお客様の「ご不満の声」の半減をめざします。



お客様センター業務状況



外国のお客様向け案内の一例

『自立』と『成長』の源となる基盤の確立

『自立』と『成長』の源となる基盤を確立するとともに、地域社会に貢献する企業風土を醸成します。

- ▶積極的な社会貢献活動を通じて、地域社会の持続的な発展に貢献します。
- ▶社会とのコミュニケーションをより積極的に実施し、社会の変化や多様性に応じた事業を展開します。
- ▶リスクマネジメント(危機管理)を徹底するとともに、継続的に人権意識とコンプライアンス¹意識の浸透を図り、「社会から信頼される会社・社員が誇れる会社」となります。
- ▶ICT(情報通信技術)の一層の活用、シェアードサービス²の推進等によりグループ業務の効率化を図り、グループ経営管理の高度化と組織力の向上を実現します。
- ▶若手技術者と専門技術者のスキルアップを推進し、道路技術のエキスパート・スペシャリストを育成し、社会の期待に応えられる技術集団として活動します。
- ▶働く喜びと誇り、達成感・幸福感を実感できる制度等の拡充により、社員のモチベーションを向上させ、最大限の力が発揮できる環境を整備します。

1 法令に違反する行動や社会から非難される行動をしないこと

2 人事や総務などの間接業務をグループ内の1カ所に集約し、業務の効率化やコスト削減を図る経営手法



安全・安心・快適な高速道路が結ぶ、人と人、地域と地域。

夢ひろがるアイデアと、心のこもったサービスで
新しい出会いや喜びを生み出します。

NEXCO西日本は、100年先の未来に向け
技術の革新と新たな価値の創造に挑み続けます。